

第 1 ~ 3 回審議会における主な意見

安全性に関する意見

- ・まずは、校舎・こどもの安全確保が最優先
- ・事後保全ではなく予防保全とすべき
- ・長期使用が可能な設備機器・配管等を導入すべき
- ・不具合の発生した防火設備は速やかに改修すべき

トイレに関する意見

- ・生理的観点からも、トイレ改善は重要
- ・トイレについて、便器洋式化も大切だが、悪臭防止等に向けた対策が重要
- ・トイレ洋式化には長所・短所がある

エアコンに関する意見

- ・児童生徒の学習環境を向上させるということにおいて、全室エアコン整備は必要
- ・一般社会の中で、エアコンがあることは当たり前であり、学校にも整備が必要
- ・エアコンがあれば理想だが、必須とまでは言い切れない
- ・教室内の温度・湿度や学校の立地条件等もふまえた検討が必要
- ・エアコン整備と、民間活力導入や校舎の省エネ化等をあわせて検討すべき

多様性や新たなニーズへの対応に関する意見

- ・音楽室へのエアコン整備についてはその理由に疑問が残るが、特別支援学級等を優先することは妥当
- ・児童生徒の多様化（LGBT等）に対応可能な施設（例えばトイレを全て個室化等）を検討すべき

地域との関係に関する意見

- ・学校施設は地域にとっても重要な役割を果たしており、学校と地域の在り方は連動して考えるべき
- ・学校は地域に開かれるべきだが、学校施設は、児童生徒のことを第一義的に考えて整備する必要がある

施設の再配置等に関する意見

- ・学校統廃合、小中一貫、廃校活用の計画等とあわせて、総合的に施設整備の検討を行うべき
- ・学校と他の公共施設の複合化や、転用等も検討すべき
- ・複合化や転用等の議論をするのであれば、ある程度の条件が必要

施設整備の進め方や考え方等に関する意見

- ・老朽化対策やトイレ・エアコン等の整備も含めて中長期的な視点での計画的な検討が必要
- ・現状において、市が示す施設整備の優先順位は妥当
- ・躯体の健全性の状況によっても、施設整備の優先順位は変わる

教育・学校の在り方等に関する意見

- ・エアコンだけでなく、学期や長期休業の在り方も議論すべき
- ・限られた予算で優先順位をつけて対処するためには、あらゆる要因を総合的に捉える必要がある
- ・情報管理の安全性の視点から、教職員 1 人につき PC 1 台が必要
- ・新たな教育へ対応するためには、施設だけでなく、教職員のスキルアップの検討も必要
- ・施設そのものではなく、学校の在り方も含めた検討が必要

議論の進め方に関する意見

- ・予算ありきではなく、理想を議論していくべき
- ・予算や人員等をふまえた現実的な議論もすべき
- ・多様な関係者（教職員、児童生徒、保護者、地域、企業等）の意見をふまえた検討が必要
- ・教員の職場環境という観点もあるが、まずは児童生徒のための学校施設という観点に限定して議論すべき
- ・施設整備の優先順位について議論を続けるとともに、エアコンについては優先順位とは別に広範囲な議論が必要

意見のまとめ

学校の安全確保に向けた取り組みが必要

ひとりひとりの児童生徒が、安心して、かつ快適に学習・生活できる学校環境を整備していくことが必要

地域とともにある学校施設を目指していくことが必要

中長期的な視点で、計画的かつ効率的に施設を整備していくことが必要

様々な教育施策や教育内容も含めた議論が必要

幅広い意見・検討をふまえつつ、「理想」を明らかにしたうえで、「現実的な議論」を行うことが必要

答申のイメージ

1 学校施設の目指すべき姿

「学校施設の目指すべき姿（案）」を以下の分類で整理

【学校施設の目指すべき姿(案)】

- 1 安全性の確保
- 2 学習・生活環境の向上
- 3 地域とともにある学校施設づくり

※資料2-3「学校施設の目指すべき姿(案)」を参照

2 施設整備の考え方

理想とする学校施設像である「学校施設の目指すべき姿」をふまえて、より効率的・効果的な施設整備を行っていくため、「施設整備の考え方」を検討する

3 学校施設の長寿命化計画